
NEWS RELEASE

ベリトランス、対面型リアル決済サービスの提供を本格的に開始 藤田観光の運営するワシントンホテルグループに 対面型セルフチェックイン機の電子決済モジュールを提供

オンライン決済ソリューションを提供するベリトランス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:沖田 貴史、以下:ベリトランス)は、この度、藤田観光株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:末澤 和政、以下:藤田観光)の運営するワシントンホテルチェーン・ホテルグレイスリーに、藤田観光の導入する「対面型セルフチェックイン機」に搭載される電子決済モジュールの提供を開始しました。

藤田観光の導入する「対面型セルフチェックイン機」とは、ホテル利用者が電子画面を操作することで、自身で簡単にチェックイン、清算、チェックアウトできる、株式会社PlanD(本社:東京都品川区、代表取締役:小幡 晶代)と藤田観光が共同開発した業界初のサービスです。ベリトランスは「対面型セルフチェックイン機」に搭載されるカード決済用のモジュールを提供しています。ホテルのフロントを介さないため、ホテル利用者はチェックイン、またチェックアウトにおける待ち時間が短縮でき、導入企業は人件費の削減、ならびにより細やかな充実したサービスの提供が可能となります。

藤田観光はまず、新宿ワシントンホテルでの運用を開始し、今後も広島ワシントンホテル(2013年10月開業予定)、仙台ワシントンホテル(2013年12月開業予定)、新宿東宝ビルワシントンホテル(仮称)(2015年春開業予定)などの新規開業ホテルにて順次導入を進めていく予定です。

ベリトランスはこれまで、EC決済を中心にサービスを展開してきましたが、この度の藤田観光への提供を皮切りに、リアルにおける対面型決済についても本格的にサービス提供してまいります。EC決済だけでなく、リアルにおける決済を提供していくことで、EC事業者だけでなく、リアルのサービスを提供する事業者などにより幅広く、ベリトランスが長年培ってきた高セキュリティ・高技術な決済サービスを提供することを目的としています。

ベリトランスは今後も、ユーザーズに柔軟に対応し、「EC」の範疇に留まることなく、幅広い市場に向けて、業界の先駆者として培ってきたノウハウをもって画期的な決済サービスを提供してまいります。

【ベリトランスについて】

「EC事業者のコアビジネスへの専念」をサポートすることを基本理念に、クレジットカード決済、コンビニ決済などの総合決済プラットフォームを提供しています。2012年4月26日より株式会社デジタルガレージの子会社となりました。日本国内はもとよりアジアを中心とした海外市場をカバーするグローバルな電子決済プラットフォームの構築を目指し事業を拡大しています。

URL: <http://www.veritrans.co.jp/>

Twitter: https://twitter.com/#!/veritrans_group